

2023年度(令和5年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	76.92	15.38	0.00	7.69
女子	76.92	0.00	15.38	7.69

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	83.33	0.00	16.67	0.00
女子	76.92	15.38	7.69	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日 くらい	月に1~3日 くらい	しない
男子	46.15	38.46	15.38	0.00
女子	38.46	61.54	0.00	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.07	19.50	36.36	40.14	39.64	9.71	150.43	19.69	53.92	女子	18.71	16.50	42.14	39.57	48.64	9.59	154.71	12.77	57.08

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未満

重点課題および要因

情意面

・運動やスポーツをすることが「ややきらい・きらい」と答える児童の割合が、男子7.6%(前年比1.4%↑)、女子23.0%(前年比12.7%↑)であり、男女とも前年より割合が高くなっている。要因として、運動が「できる・できない」と比較されることで、運動が楽しくないと感じている。

体力面

・男子は「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」、女子は「上体起こし」「ボール投げ」の種目が県平均値かつ全国平均値より低い。男女ともに「ボール投げ」の種目が低い。要因として、動画視聴やゲーム等、メディア時間の増加による外遊びやスポーツ活動時間が減少している。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・体育の授業前に、サーキット運動や授業の予備運動、運動遊び等を取り入れる。
- ・チャレンジカード(鉄棒・縄跳び・かけ足等)を活用し、自分の目標を決めて個の伸びを評価する。
- ・活動の振り返りを行い、次の活動へ意欲を持たせたり動機づけをしたりする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・月に1回程度、ロングタイム休憩を実施し、学級全員で外遊びを行う。
- ・ソフトバレーボールやドッチボール、ドッチビー等、遊ぶ用具類を充実させ、外遊びを推進する。
- ・雨天時には休憩時間に体育館を開放し、学年ごとに体を動かして遊ぶ場を設定する。
- ・学校行事として「大縄大会」を開催し、保健体育委員会が跳び方やコツを児童朝会で紹介する。また、「集団遊び(外遊び)」の動画も紹介する。

2024年度(R6年度)の  
重点目標値

- 運動や外遊び、スポーツ活動をすることが、「やや嫌い・嫌い」と答える児童の割合を全校で10%以下にする。
- 体力・運動能力項目の県平均値かつ全国平均値以上の達成率60%以上にする。